



2024年度 上半期号
浦添総合病院 医薬品情報誌
担当：川上・本村

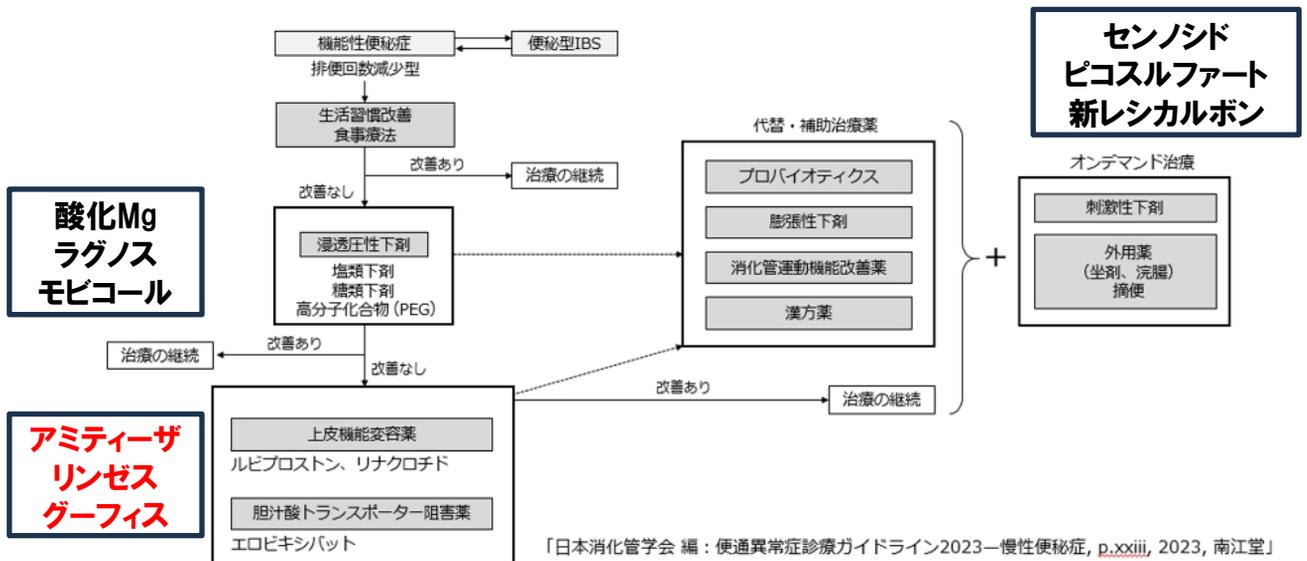
- 便秘薬について
- フェスゴ皮下注
- コロナ治療薬（内服）

慢性便秘症について



6月上旬にVHJ薬剤評価委員会にて、慢性便秘症治療薬3剤について薬剤評価が行われ、当院薬剤部のDI担当として参加してきました！最新のガイドラインも絡めて、改めて便秘症について考えていきましょう！

「便通異常症診療ガイドライン2023-慢性便秘症」フローチャート



上記は最新の慢性便秘症ガイドラインのフローチャートです。今回のガイドラインの特徴として、浸透圧性下剤やアミティーザ・リンゼス・グーフイスは高いエビデンスが示されました。またセンノシドなどの刺激性下剤や外用剤（坐薬など）はオンデマンド治療（症状に応じて適宜使用）に分類されることになり、より明確に使い分けが示されました。



今回の薬剤評価委員会では、アミティーザ・リンゼス・グーフイスの3剤にフォーカスを当てて協議が行われたんだっけ？

そうだよ！
それぞれの特徴を比較しながら一緒に考えてみよう！





3剤の比較表です。

作用機序が特徴的な点もあり、食前や食後での服用が求められる薬剤となっています。

ガイドライン上では3剤の位置づけは特に定められていません。それもあって、当院含め3剤とも採用している病院が多い現状があります。評価委員会でも多面的に評価を行いました。患者の状態に応じた薬剤選択を行うことが望ましいとの結論になりました。今後のエビデンスに期待です。

商品名	アミティーザカプセル	リンゼス錠	グーフィス錠
一般名	ルビプロストン	リナクロチド	エロピキシパット
作用機序	・小腸 CIC2 活性化 ・腸管への水分分泌促進	・GC-C 受容体活性化 ・腸管分泌・輸送能促進	・腸内胆汁酸トランス ポーター阻害 ・腸管分泌/輸送能促進
適応	慢性便秘症	便秘型過敏性腸症候 群、慢性便秘症	慢性便秘症
用法	1日2回 24 μ g	1日1回 0.5mg (症状により 0.25mg に 減量)	1日1回 10mg (適宜増減 1日 15mg まで)
用量	朝・夕食後 食前と比べて食後の方が 悪心の発現頻度が低下し たため	食前 食前と比べて食後の方 が下痢の頻度が高かつ たため	食前 食事により胆汁酸が分 泌される前に服用した 方が効果が高いため
副作用 (発現頻度%)	下痢(30)、悪心(23)、腹 痛(6)、腹部不快感(5)	重篤な下痢(頻度不 明)、下痢(11)	腹痛(23)、下痢(14)
妊婦	禁忌	有益性が危険性を上回 るときのみ	有益性が危険性を上回 るときのみ



・便秘改善の第一歩は食事と生活習慣の改善から！お薬はそのあと！

・腸を動かす刺激性下剤、便を柔らかくする浸透圧性下剤、今回紹介した3剤特徴が異なるため、便秘が強い患者さんがいれば薬剤師に相談を！

参考資料

- 1) リンゼス錠 インタビューフォーム
- 2) グーフィス錠 インタビューフォーム
- 3) アミティーザカプセル インタビューフォーム
- 4) 病棟頻用薬の通信簿 月間薬事4月臨時増刊号 2024 Vol66 No6 p105

フェスゴ皮下注

最近知り合いががんになって抗がん剤治療を始めたみたいなんだ。
点滴するから長い時間拘束されるって言ってたよ。

そうだよ。でもね、最近画期的な技術で点滴の投与時間が短くなったケースがあるんだよね！

え！？どんな技術？どんな薬剤なの？

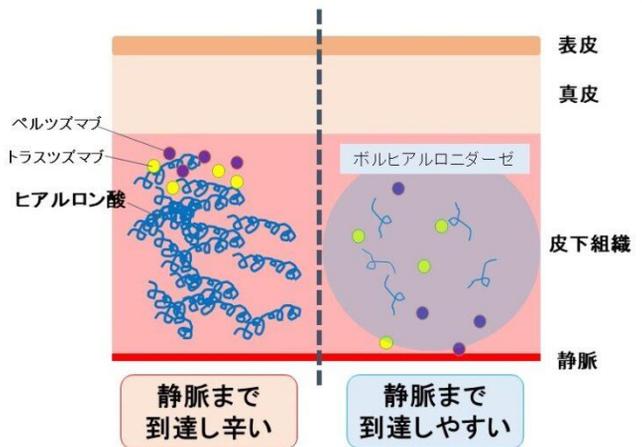


そのお薬がフェスゴ皮下注！

今年に入ってから採用されており、当院でも使用実績があります。主に乳がんの治療で使われるお薬です。

皮下組織のヒアルロン酸を分解することで皮下注射を可能にしています。これにより、薬剤の体内分散が促進され、投与時間が大幅に短縮。患者・医療者の負担軽減に繋がります。

またヒアルロン酸の分解は一時的なもので、1-2日で回復します。



新薬情報オンライン

乳癌 3wDTX+HP療法

total 210分			
Day1	60分	60分	90分
初回	 バージェタ	経過観察	 ハーセプチン

▼ 172分 投与時間短縮

total 38分				
Day1	8分	30分	30分	60分
初回	 フェスゴ	経過観察	 制吐剤	 ドセタキセル

フェスゴ皮下注にすると従来と比べて投与時間も約3時間短縮になったんだ。ただ多量に皮下注射するので痛みが生じる症例もあるから、患部を冷やしてから投与したりと看護師さんが工夫して患者さんの負担を減らす努力をしてくれているんだ！

3時間も短くなるってすごいね！
看護師さんの工夫もすごくありがたいね！

全部の点滴でこの技術が使えるわけではないけど、少しでも多くに適応出来るといいよね！



新型コロナ治療薬(軽症中等症Ⅰ:内服)

新型コロナが5類へ移行して1年が経ちました。
2024年4月から公費負担が終了しています。
ここで改めてコロナ治療薬(軽症中等症Ⅰ:内服薬)について
まとめてみました

軽症中等症Ⅰ	ラゲブリオ カプセル200mg	パキロビットパック 600/300	ゾコーバ錠125mg
成分名	モルヌピラビル	ニルマトレビル・リ トナビル	エンシトレルビル
用法用量	1回800mg(4CP)1日 2回5日間	1日2回5日分 ※1シートで1日分 の薬剤あり	初日375mg 2-5日目125mg 1日1回
薬価/総額	¥94,312	¥99,027/600 ¥62,693/300	¥51,851
併用禁忌	なし	多数	多数
妊婦/授乳	禁忌/中止	投与可/必要時可	禁忌/中止
減量基準	なし	eGFR60-30:300 eGFR30未満:禁忌	なし
小児適応	18歳以上	12歳以上かつ 体重40kg以上	12歳以上
注意点/特徴	・カプセルが大きい ・服用後4日間まで 避妊・授乳中止が 必要	・腎機能又は肝機 能障害の患者で コルヒチンを投与 中の患者は禁忌	・重症化予防効果 がない ・腎機能又は肝機 能障害の患者で コルヒチンを投与 中の患者は禁忌

参考資料

- 1) 患者向医薬品ガイド:パキロビット、ラゲブリオ、ゾコーバ
- 2) 各添付文書・インタビューフォーム
- 3) 東京都保険医局:経口薬(ゾコーバ・パキロビットパック・ラゲブリオ)の取り扱いについて



流行初期の頃は同意書が必要だったけど今は特に制限なく処方することが可能となっているよ。それぞれの特徴が違うから、患者さんに合わせて薬剤選定が必要だね。
当院ではラゲブリオ・パキロビットは使用実績がありますが、ゾコーバは使用実績がないので、処方時は薬剤部へ連絡をお願いします！